

夏合宿リベンジ 霞沢岳

山行日 2019年9月1日(日)～2日(月)

行程 1日：松戸 5:00＝沢渡 9:00(タクシー)＝上高地 9:30/10:00－明神 10:50/11:30－徳本峠小屋 13:50 (泊)

2日：小屋 5:00－J P 6:10－小湿地帯 6:50－K1 ピーク 8:50/9:00－霞沢岳 9:45/10:00－K1 ピーク 10:40/10:50－J P 13:15－徳本峠小屋 14:05/14:30－明神 16:10－上高地 17:15(タクシー)＝沢渡 17:40/(入浴)18:45＝松戸 23:00

費用 小屋 10,700 円、車・タクシー・駐車場 11,500 円、明神池見学 300 円 計 22,500 円

<1日目はラッキー続き>

松戸をいつもより1時間早い5時に出発したおかげで渋滞もなく、予定より1時間早く沢渡に到着。ここからバスで上高地に入る予定だったが、客待ちタクシーが大正池までの料金で乗せてくれるという。バスより大部安上がりな上に、運転手の説明付きで、雲見の滝、ト伝の湯など初耳がいろいろ。上高地には予定より2時間早く着いた。



時間もたっぷりあることだし、普段素通りしている「明神池」に寄ることにした。拝観料 300 円。

最近雨が多く池の水量もたっぷりで、徐々に青空も見えだし、湖面はどこをとっても名画、カメラに収めきれないのが残念。嘉門次小屋では、W・ウエストンから贈



られたというピッケルが煤けた壁に掛かり、囲炉裏にはイワナ焼が。1匹 1,000 円也！

観光を楽しんだ後は、山行に戻り、白沢出合から、徳本峠に向かう。2時前に徳本峠小屋到着。今にも倒れそうでつかい棒をしてある古い小屋、その奥に新しい建物もあった。古い方は文化庁の登録有形文化財で、なぜか私達4人だけこちらを割

り当てられた。

小屋から45秒のところに展望台がある。明神の奥に穂高、しかし少々雲が沸き

加減。明日はもっと素晴らしい展望が見られることを期待しつつ、小屋に戻ってゆったり過ごす。

夕食時、ポットには「お茶は一人2杯まで」とある。水が貴重な小屋である。
<2日目は苦行の12時間?>

4時に起き、昨夜のうちに渡された朝食の弁当を食べる。ちらし寿司ご飯で食べやすい。霞沢岳までピストンなので不要な荷物は預けて5時出発。20分ほどで朝日が昇るが、雲が厚い。ジャンクションピーク(JP)が意外に遠い。さらに30分くらい行くと、前方に白いものが見える。もしかや雪渓か?と思ったら、池に映る雲だった。

小鞍部から先は急坂で、時折お花畑も現れる。ハクサンフウロのピンクがかわいい。マルバダケブキは終盤、トリカブト、リンドウ、サラシナショウマなど。

息を切らしながら登りきるとK1ピークに出た。写真をとる間にも雲がかかって、時折ポツポツ。霞沢岳まであと少しのところできついに雨が降り出す。急いで雨具を着こむ。



霞沢岳山頂は何も見えない、展望全くなし。残念!頭が一部欠けた2等三角点がある。

小川さんがコーヒーをふるまってくれる。温かさが何よりの御馳走。

15分ほど休んで、来た道に戻る。K1ピークからの急坂を慎重に下る。途中で雨が小止みになった、かと思うとまた降り出す、降ったり止んだり、小湿

地の辺りからは道が殆ど小川状態。スパッツもズボンも付けていなかった人は靴まで浸水して、徳本峠小屋に濡れネズミで到着。

ここで、預けた荷物を回収して、下山。相変わらず、降ったり止んだり、足もくたびれてきたのでとても長く感じる。明神に着いたときはヤレヤレ。上高地BTに着いたときは「終わった!もう歩かなくていい!うれしい!」

夕方の明神、上高地は人通りも少なく新鮮な風景だった。

タクシーで沢渡に戻り、運転手さん推薦の温泉に入り、我々の苦行は12時間で終わった。が、北村リーダーの苦行はさらに続く。お疲れのところを松戸まで一人で運転していただいた。本当にお世話になりました。(感謝)